

# プロパテントについて

すずきひろのぶ

2003/Sep/19 SEA & FSIJ 合同フォーラム

全国情報サ - ビス産業厚生年金基金会館

# プロパテント

- パテントを攻撃的に使い利益を得るあるいは、利益を保護する方法論のこと
- 現在のプロパテントのトレンドはレーガン政権時のプロパテント政策が源流
- 現在では、パテント(特許)だけではなく90年代に勃興してきたソフトウェア特許、ビジネス特許、あるいは知的財産権などを含み、とても全体像は曖昧であるにも関わらず攻撃的に使うという側面のみは生きている
  - アメリカは建国時代からプロパテントな国家であるという意見もあるが、パテントは技術が公開され、満期後は公共財となる側面を見逃してはならない

# プロパテント政策

- レーガン政権

- 80年代における深刻なアメリカの不況・製造業の不振
- President's commission on industrial competitiveness.  
1985. *Global competition: the new reality*
  - ヤングレポートとして有名
- 米国の国益保護
  - 80年代に台頭してた日本やドイツなどがターゲット

# キルビー 275 特許

- 日本での特許成立状況
  - 原特許1960年申請・1965年公告・1980年満了
  - 継続させるための特許を分割出願1～8まで拒絶
  - 分割出願9が成立(登録番号320275)
- 背景には米国のプロパテント政策
  - 日本の半導体製造業は数千億円払ったといわれる
  - キルビー275特許に複数の特許を抱き合わせ & 10年間という長期の契約
- 富士通は拒絶・訴訟へ
  - 1991年から法廷闘争・1997年に勝訴

# こんな特許もある

- 1-Click特許
  - Amazon
- ハイパーテキスト特許
  - British Telecommunication
- Method of swinging on a swing
  - United States Patent 6,368,227
  - Inventors: Olson; Steven
  - April 9, 2002
- 無効と思われる特許であっても取るだけなら簡単
  - アメリカでは法廷での決着が前提であるから

# ITバブルが崩壊

- プロパテント政策の暴走
  - 米国経済凋落の時に作った国益保護という目的からはすでにかけ離れている
- 弁護士大国アメリカ
  - この手の訴訟に精通した弁護士がたくさんいる
- ただし最後の資金回収の手段以上にはなっていないようだ
  - 業績の改善や企業の復活といった結果を導いていない

# JPEG特許問題

- Forgent社が突如、JPEG特許を主張
  - 特許切れまであと2年のところで(2002/Jul/11)
  - 元々はCompression Lab.が特許 後にForgent社に
  - 特許よりも先にJPEG委員会でこの技術が使われていたためこの特許の有効性は疑わしい
  - この特許にお金を払ったのは日本企業のみだといわれている

# SCO問題

- IBM VS. SCO
  - 両者の契約上の問題であり第三者には関係ないこと
- SCO VS. Linuxユーザ
  - 自社のコードと同じコードがLinuxカーネルに含まれると主張
  - 第三者であるユーザに料金を主張
    - これは前代未聞
    - この手法が法的に有効である根拠はない
      - 目的は別の所にあるのかも知れない



# 矛盾に満ちたSCOの主張

- 流用されたUNIXコードと主張しているのは、実はパブリックドメイン化されたUNIXコードのこと
- カーネルに流用されたと主張するコードサイズは、実際のカーネルのコードサイズより大きい
- SCOはUNIXの技術・歴史・権利・契約に精通してはいないようだ
  - そもそも90年代にUNIXのライセンスが流浪の旅を続けているのもUNIXの知的財産権の価値が乏しかったからだ
    - 90年代のバークレー大学 VS. AT&T訴訟ではUNIXの知的財産権を振り回したAT&T側(途中でUNIXがNovelに売却される)が逆に不利な状態になり最後は和解になった
    - 色々な会社を渡るたびに手垢がつき、どの会社が誰にどんな契約をしていたのかを把握できなくなっているはずだ

# FORGとSCOXの共通点

- 特許やライセンスを主張した時の株価は1ドルになるのは時間の問題であった
  - 継続的に1ドルを切ると上場取り消しになる
    - 1ドルを切る株のことをPenny stockと呼ぶ
- Penny stock回避としか思えないが...
  - SOCX: NASDAQ市場が回復しているのと連動して株価が上昇してきている
    - 1ドル台から20ドル目前にあがったが、逆に以前にはなかった訴訟リスク(IBMが特許で提訴)を抱え込んでいるのは皮肉
  - FORG: 2002年9月から10月にかけてのすごい売りで1ドル台へ逆戻りしたが現在は市場回復に連動している

# プロパテント政策の破綻と暴走

- 日本の競争力をそぎ、日本から金を吸い上げるための道具がITバブル崩壊で暴走
- ゼロサムゲーム
  - しかし現実にはゼロサムにはならず、経済活動全体を萎縮させる原因となる
- 蛸が自分の足を食う状態になっている
  - マイクロソフトもIEプラグインで5億2100万ドルやられている
    - ソースコードを隠せば大丈夫なんていっている能天気な人もいるようだ...

このプロパテント政策の  
暴走を止めない限り  
第二、第三のSCOが現れる

# プロパテント政策放棄の可能性

- Franklin D. Roosevelt
  - 1930年代の大恐慌時代を乗り切った名大統領
  - Anti-trustやpatent misuseなどの政策
  - このように過去には反パテントな時代があった
- アンチパテント政策
  - 経済活動拡張へ有効な手段
  - ただしブッシュ政権下ではありえないだろうが...

# プロパテント政策への抵抗

- アメリカ以外でLinuxへのシフトが政策レベルで進められている背景
- プロパテント政策の限界
  - そもそもアメリカのプロパテント政策は“対アメリカ貿易”の枠組みでしか機能できない
  - 他の国々のオープンソースへのシフトをとめる原動力にはなりえない

# まとめ

- レーガン政権時代のプロパテント政策が暴走
- ITバブル崩壊後は最後の資金回収方法に
- 何であれ、金になると考えれば最後の手段として使われる
- フリーソフトウェア・プロプライエタリで区別はない
  - 区別は金になるかならないかである
- アンチパテント政策への方向転換
  - アメリカにおいては現在の共和党政権下では改善できないだろう
  - アメリカ以外では加速する